

## 令和6年度第1回一関市環境審議会 会議録

- 1 会議名 令和6年度第1回一関市環境審議会
- 2 開催日時 令和6年10月8日（火）午前10時から午前11時30分まで
- 3 開催場所 一関市役所 会議室棟 第1会議室
- 4 出席者
  - (1) 委員 佐藤和久委員（会長）、千田典文委員、岩館幸司委員（代理大澤成光様）、遠藤章委員（代理山本雄麻様）、佐藤美樹委員、吉田恵子委員、前田眞委員
  - ※欠席者 千葉理恵委員、千葉平委員、北條喜久男委員、橋本温子委員、及川良委員、沼倉恵子委員
  - (2) 事務局 菅原稔市民環境部長、宮野剛輔生活環境課長、山田綾生活環境課環境企画係長、佐藤寛幸生活環境課環境衛生係長、高橋望生活環境課主任主事

### 5 議 題

- (1) 令和6年度版環境報告書（令和5年度実績）の素案について

- 6 公開、非公開の別 公開
- 7 傍聴者 1人（うち報道機関1人）
- 8 市民環境部長挨拶

本日はお忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

審議会委員の皆様には、日頃から市の環境行政に対し多大なるご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本来であれば、市長が出席してご挨拶申し上げますところですが、本日は別の公務があり出席できません。代わりに、私が挨拶させていただきますこととお許しください。

環境問題は、大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭、廃棄物など日常生活に密接に関わるものから、地球温暖化など地球規模の課題まで多岐にわたります。

このような状況の中、市では令和3年2月に「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ」を目指すことを宣言し、その取組の第一歩として、令和3年度に環境省の補助事業を活用し、市内の再生可能エネルギーの賦存量を調査し、再生可能エネルギーの導入目標などを取りまとめたところであります。

これらのデータを基に、令和5年3月に「一関市地球温暖化対策地域推進計画」を策定し、2050年二酸化炭素排出量実質ゼロの達成に向けた指針といたしました。

本日の環境審議会では、令和5年度に実施した環境部門に関わる事業や施策の実績を

取りまとめ、環境報告書の案について説明いたします。

審議会委員の皆様には、忌憚のないご意見をお寄せいただき、環境報告書の作成や「一関市地球温暖化対策地域推進計画」の取組の参考とさせていただくとともに、今後の施策に反映させてまいりたいと考えております。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

## 9 審議内容

### (1) 令和6年度版環境報告書（令和5年度実績）の素案について

事務局から資料に基づき説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 15ページの木質バイオマスのサプライチェーン構築の交付実績について、内容が具体的に分かるように記載した方が良い。

事務局 担当が林政推進課なので、林政推進課と協議し、分かりやすいように修正する。

委員 10ページの上から4行目で2030年度の話に温室効果ガス26%削減とあるが何か理由があるのか。ほかの項目はみんな46%削減と言っているが、ここだけ26%なのはなぜか。

事務局 一関市役所地球温暖化対策実行計画は令和5年度に改正をし、一関市地球温暖化対策地域推進計画の目標に合わせて46%削減に引き上げた。訂正が漏れていたところなので、訂正する。

委員 12ページ以降が今回から新しく追加されたという話だが、一関市地球温暖化対策地域推進計画で、表現が分かりにくいと感じるところがある。

一関市地球温暖化対策地域推進計画は文書として存在して、どこかで公表されているのか。今回配布された資料には載っていないとは思いますが、まずその点をお伺いする。

事務局 一関市地球温暖化対策地域推進計画については、現在、確認方法として市のホームページに公表している。策定のタイミングで、市の広報と一関地域地球温暖化対策協議会の広報に掲載している。

委員 そうすると、この12ページから何ページかに渡って参照されているところ、例えば12ページの5行目で言うと「第5章目標達成に向けた取組」、これは市のホームページで公表されている文書ということで良いか。なかなかこの冊子だけ読んでいても、流れがつかめなかった。

一関市地球温暖化対策地域推進計画とこの環境報告書の内容とで重なる部分がたくさんあると思うが、この報告書では参照が非常に多く、通して読むと理解が難しく感じるので、章立てというか組立てに工夫が必要だと思う。

とにかく前から後ろに向かって通して読むと、意味が分からなくなってしまう。

委員 例えば、15ページの3.2の(3)J-クレジットやオフセットクレジットについて、読むと、順調に推進しているようにも読めるが、実際に取り組んでいるのか、それとも計画だけなのか実態がこの文章からは見えてこない。この報告書でどこまで報告しようとしているのか。

他の部署で上がった項目だけをここに並べておこうとするのか、あるいはそれがどれだけ進んでいるのかまで含めて報告されているのか。

その辺りの意図がはっきり分からなくて、読んでいるともどかしさを感じるので、これも検討をお願いしたい。

委員 放射線の話が今出たのでお聞きしたいが、狐禅寺の方に仮設焼却炉が計画されていたが、その後その仮設焼却炉はどうなっているのか。この仮設焼却炉は放射線で汚染された物を燃やすというのは聞いているが、どこの何を燃やすことで計画されていたのかお聞きしたい。

事務局 今の仮設焼却炉の話だが、国で整備をする予定で当初の計画があったが、現在その計画は中断されている。

この仮設焼却炉は8,000ベクレルを超える稲わらなどといったものを、100ベクレル以下のものと混焼する施設として計画されていたものだったが、現在は中断している。

委員 仮設焼却炉で燃やそうと思っていたものは、どこのものを燃やそうと考えていたのか。

事務局 市内のものである。

委員 今、そのものはどうなっているのか。

事務局 それぞれの稲わらなどは、放射線が放出されないような状態で保管している。

委員 舞川の方に集めていたと記憶しているが、あの地域だけではなく、何か所かあって、市が管理している部分について、その仮設焼却炉で燃やすということか。

事務局 そのとおりである。

委員 17ページの環境基準は、Aは基準を達成しているが、Cと書いてあるところは達成していないということか。

事務局 17ページだが、表の下に環境基準と書いてあり、環境基準はAAと書いている川については1リットル当たり1ミリグラム以下、Aと書いてあるところは1リットル当たり2ミリグラム以下という単位で、基準は川によって異なると

ということである。

ちなみに、結果によるAからCではなくて、その川はこのくらいの基準が設けられているという考え方である。

例えば、磐井川上流の長者の滝橋の基準はAAで、1リットル当たり1ミリigramの基準があり測定した結果、0.5ミリigramに満たないということである。

基準を達成しているかどうかについては、国と県が測定した結果は17ページ、一関市が測定した結果は18ページに掲載しており、達成したかどうかは○か×が入っている。

こちらは先ほどの基準が特段設けられていないものについては、1リットル当たり10ミリigram以下というところで設定して、それが達成したかどうかという判断をしている。

委員 このCの基準を設けられたのはなぜか。みんなAになればいいのではないかと考えてしまう。

委員 基準をAにすると、達成できないところが必ず出てくる。下水道を整備したからと言って、川の全ての水がきれいなわけではない。農業地域や工場もあるので、水の排出を抑制しないとAの基準は達成できない。

委員 そうすると、こちらの17ページでいうと3つのCランクのところは、条件的に汚れてしまうところにあるということか。

家がいっぱいあるとかそういうところではなくて、このABCに分類するときの基準みたいなものもあるのか。

事務局 全て汚水を流さないという条件ならば、すべてA類型ということが可能だとは思いますが、現実的でない話である。

実際には工場があったり、田んぼがあったり、それぞれの河川に合った類型を設けるものになっている。その類型に従って基準値を達成しているかどうかというところで判断している。

Cが悪いような感じはするが、そういった環境にある河川はCになっている。自然豊かなところにある河川はA、Bになってくるということで類型のあてはめにはなってくるのかと思う。

委員 この地域の河川は、総じて汚くないと理解できた。この地域は、類型がAのところが多い。

委員 今の基準値を超えているところについて前年度も全く同じ質問をしたかと思うが、何か施設があり、そこから汚い水が流れて来るといってお話があった。こ

れは、改善するように指導するところまで至らないような数値と考えているのか。

事務局 令和4年度もオーバーしており、令和5年度もオーバーしている。

一関市役所川崎支所へ確認し、上流に養豚の業者があるということ、その業者が放流しているというところまでは確認したが、指導というところまでは至らず検討段階である。

委員 ごみの減量について、数年前にある地域で頑張って減らしたそうだが、燃焼のために焼却炉を高温で維持しなければならないと聞いた。

高温を維持するためには、ある程度燃える物がなければ困ると言われて、結局ごみの減量が続かなかったという話があった。

最新のごみ焼却施設は、どうなっているのか。

最終処分場のこともあり、ごみは減らさなければならないという話になっているが、こういう話があったことで、あまりごみを減らしてはいけないということになってしまうと困るということもあり、新しい焼却施設がどのように稼働されて今までとどのように違うのかお聞きしたい。

事務局 全てについて答えられないが、不足部分は追加資料を後日用意したいと思う。

現在、一関市は狐禅寺と大東地域に焼却施設があり、それは今後の人口減少やごみの減少化も踏まえて、1基にしていくという話になっているが、炉は2基持っている。

それを維持するためにダイオキシシンが発生しないように工事をして計画的な運用や新しいシステムを導入していると伺っている。

細かい点は申し上げられないが、このような流れになっているので、ごみの減量は進めていただかなければならない取組だと思う。

一番良いのはごみを出さないことであり、次に重要である、いかに効率よく燃焼させるかということが今後の検討に入ってくると思う。

また、リサイクルについて、リサイクルが推進されることで現在燃やしているものがリサイクルに回ってくるが増えるので、ごみの焼却は今後減っていくと思っている。

全て分かれば良かったが、一関地区広域行政組合で取り組んでいるので、分かる範囲でお答えした。

委員 私の方で分かることだけお話しする。

まず、ダイオキシシンだが、温度の高さで抑えられるわけではなく、燃やすと多少は発生するので排気ガスが出るところで処理をする。それは今の施設であ

っても新しい施設であっても備わっていると思う。

燃焼温度を下げられるところまでゴミを減量できれば、とてもすばらしいが、そこまでの減量にはならないと思う。

現在、ごみが減少しているのは、まさに人口減少が原因だと言われていて、ダイオキシンの心配は実はしなくて大丈夫な話である。

環境に対して良い取組をしようとする、世の中には一生懸命取り組む人の足を引っ張ろうとする間違っただ情報が流れているので気をつけなければならない。ダイオキシンの心配は、いろいろな方に聞いても大丈夫と答えると思う。

委員 ある清掃関係の方に聞いたら、先ほどのような話だった。

委員 多分それは正しくない情報に基づいて判断された方がいたのだと思う。

委員 提案だが、九州に菌ちゃん農法という生ごみ農法があり、常菌を使った農法がユーチューブで公開されている。

その方が畑やプランターでもできる方法として、生ごみを使い野菜を育てる菌ちゃん農法という方法があり、生ごみを漬物のように発酵させて使うという話が出ている。

そのような取組をすれば良いと思い、市でその方を呼んで講演会や講習会を依頼したり、住宅地でもできるようにしていきたい。

コンポストだが、臭いから家の近くには置けないという人たちがいる。近くに畑があれば、その畑に置くことは良いが、畑まで遠いと庭に置くしかなく庭に置くことに抵抗があるという意見を住宅地以外の地域でも聞くので、菌ちゃん農法であれば漬物だから匂いも良いと思う。

プランターでもできるので、住宅地でも取り入れていけば、生ごみが減っていくと思ったので、ご検討いただけたらありがたい。

事務局 意見としてお伺いする。

委員 32ページ使用済小型家電回収だが、電池を抜いてゴミに出すことを徹底してほしい。特にリチウムイオン電池の回収方法を市で周知してほしい。

委員 現状は電気店だけが、回収していると思う。

多分、新しいごみの焼却施設での回収はニッケル・カドミウム電池もリチウムイオン電池も回収するという計画があったと思う。数年後を目標にして回収するという計画だったと思う。当面は、電気店に持っていく方法しかないと思う。

事務局 どこに出すかというあたりは、PRが必要な面があるかと思う。

委員 製品プラスチックの回収は令和6年度からか。

事務局 製品プラスチックの回収は令和6年度からである。

民間事業者が、具体的にはニッコー・ファインメック株式会社が岩手県に申請をして、補助事業でやっているのが令和5・6年度になる。

令和5年度は、大東地域と花泉地域に3か月間、支所の駐車場にコンテナを置いて回収したものである。回収する場所に仕分ける人がいなかったことで、回収したい物以外の物が混ざったということがあった。

令和6年度はやり方を見直して、イベント回収をして8つの地域の8か所の会場で回収をしている。

将来的には製品プラスチックも含めた回収ができるように、実証事業として取り組んでいる。

委員 昼は回収していて、夜は回収していないからそのような声があるか。

委員 各地域も広く、会場に行くのも大変なので、できればスーパーに設置しているペットボトル回収のように、無人で買い物ついでに回収できる仕組みがあれば嬉しい。

委員 今の件は、報告書には反映されていないのか。

事務局 報告書には記載していないので、記載する。

10 担当課 市民環境部生活環境課